

FENWAL

2023 | 12月期 第2四半期 決算説明資料

(2023 年 1 月 1 日 ~ 2023 年 6 月 30 日)

2023 年 8 月 23 日

日本フェンオール株式会社

(東証スタンダード: 6870)

Contents

はじめに	2
1. 2023年 12月期 第2四半期 決算概要	5
セグメント別実績	8
2023年上期の主な取組み	15
2. 2023年度 通期連結業績見通し	17
2023年度 配当・株主還元について	20
3. Appendix	22

はじめに

ビジョン

お客様の期待を超える「ものづくり」のベストパートナー

経営基本方針

「基本の徹底」と「変化への挑戦」

- 品質保証体制の強化
- 組織体制の再編整備
- 人材育成と適所適材
- 研究開発体制の強化

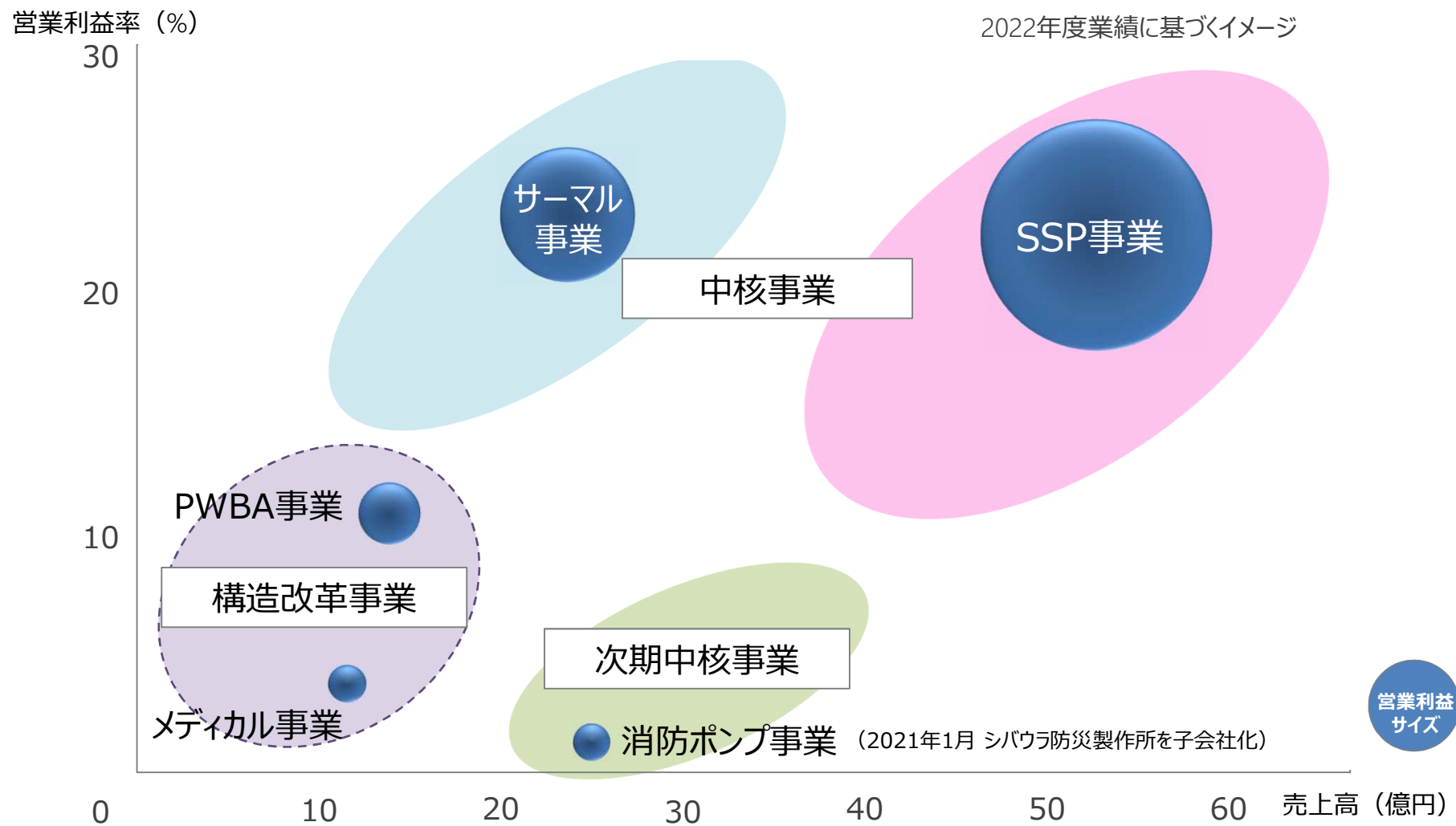
当社の提供価値

私たちは、熱制御をコア技術として、防災、半導体、医療など様々な事業領域において、安心・安全な社会への貢献を果たすことを使命として「ものづくり」に取り組んでおります。



事業ポートフォリオ

FENWAL



1. 2023年12月期 第2四半期 決算概要

2023年度 第2四半期の業績サマリー

FENWAL

前期比 売上高 +10.1% 営業利益 △4.2% 増収減益

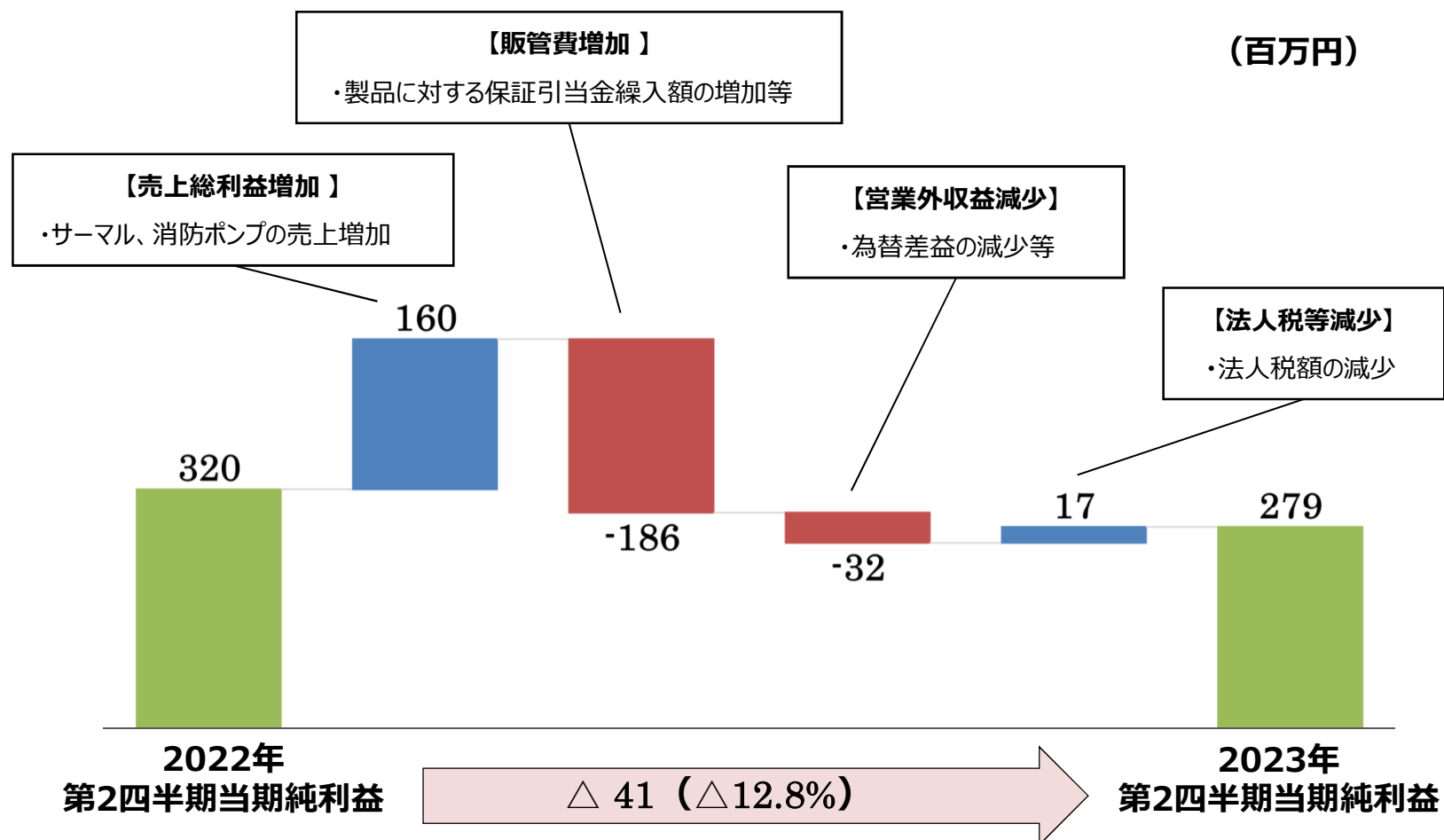
業 績 項 目	当期実績	前 年 実 績		当 期 予 算 (百万円)	
	実 績	実 績	前期比	予 算	進捗率
■ 受 注	6,306	6,363	△0.9%	12,851	49.1%
■ 売 上	6,486	5,891	10.1%	13,039	49.7%
■ 売 上 総 利 益	2,059	1,898	8.5%	4,046	50.9%
■ 販 管 費	1,457	1,270	14.7%	2,790	52.2%
■ 営 業 利 益	601	628	△4.2%	1,255	47.9%
■ 営 業 外 損 益	70	102	△31.4%	54	129.7%
■ 経 常 利 益	671	730	△8.0%	1,310	51.3%
■ 当 期 純 利 益	279	320	△12.8%	712	39.3%
■ 1 株 当 り 純 利 益 (円)	49.92	57.34	△12.9%	127.09	—
■ ROE	2.3%	2.7%	△0.4Pt	6.0%	—
■ EBITDA マージン	11.7%	13.5%	△1.8Pt	12.3%	—

- 売上高は、消防ポンプ部門で出荷台数が大きく伸長したことから増収
- 営業利益は、販管費に不具合対応として122百万円を計上したことにより減益

※ 予算は、2023年2月10日に開示しました通期業績予想の数値です

前期比 当期純利益増減要因

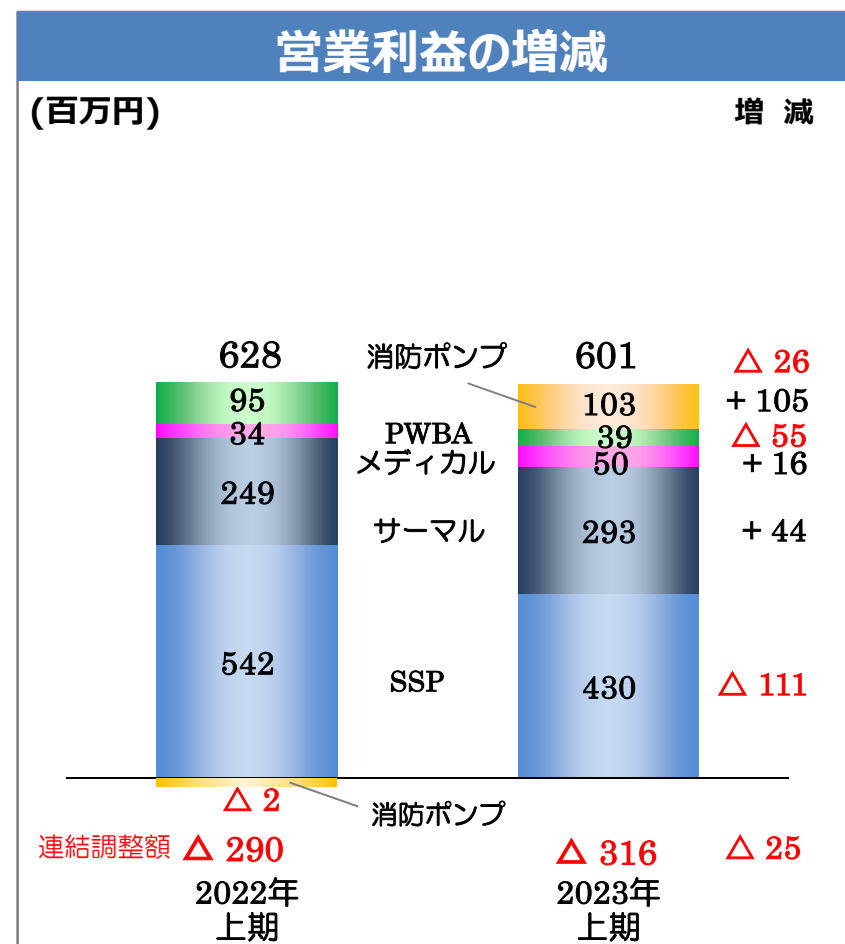
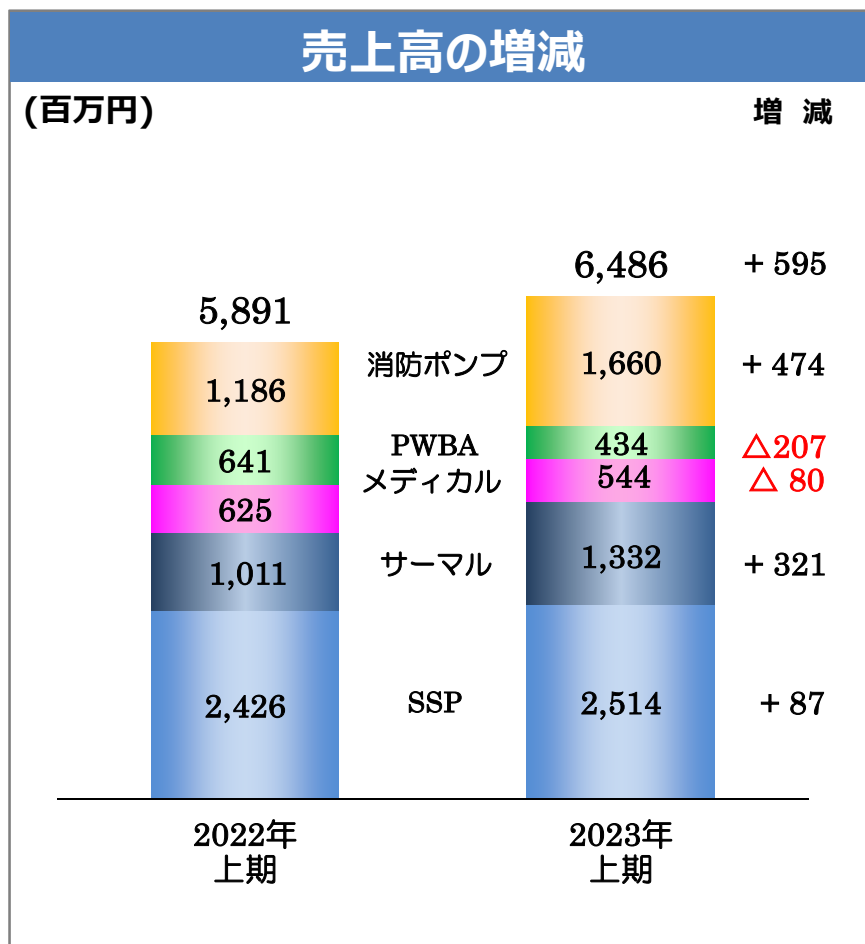
FENWAL



セグメント別実績

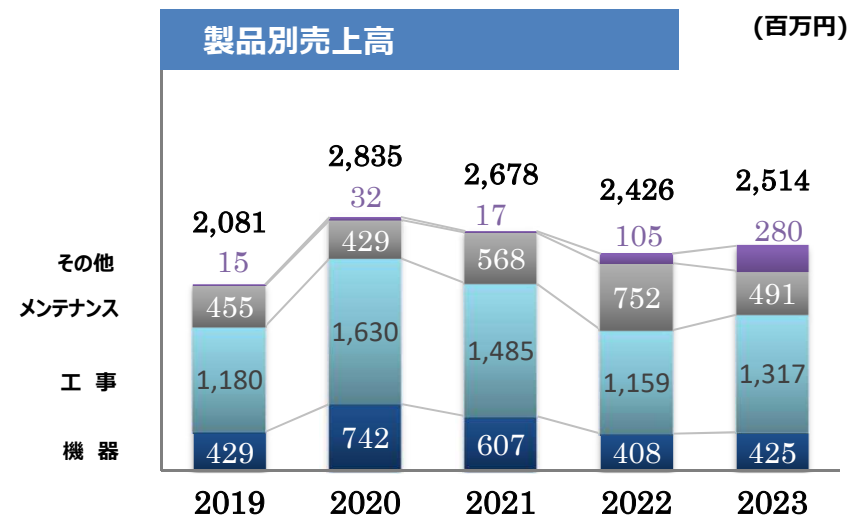
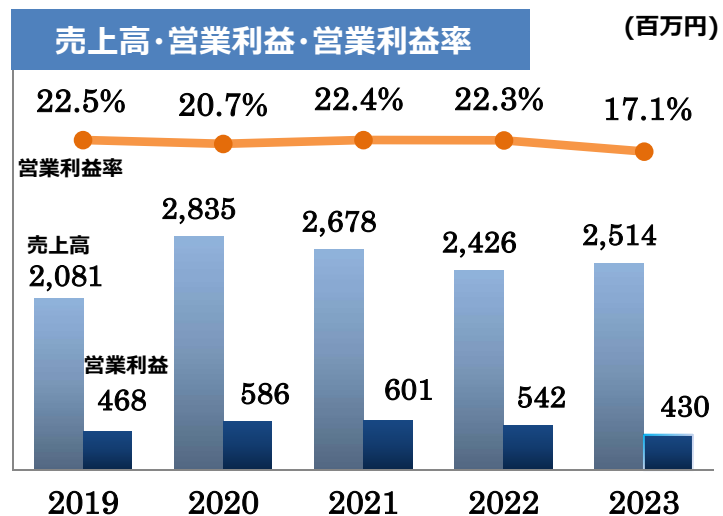
セグメント別増減明細

FENWAL



セグメント別売上高・営業利益 SSP

FENWAL

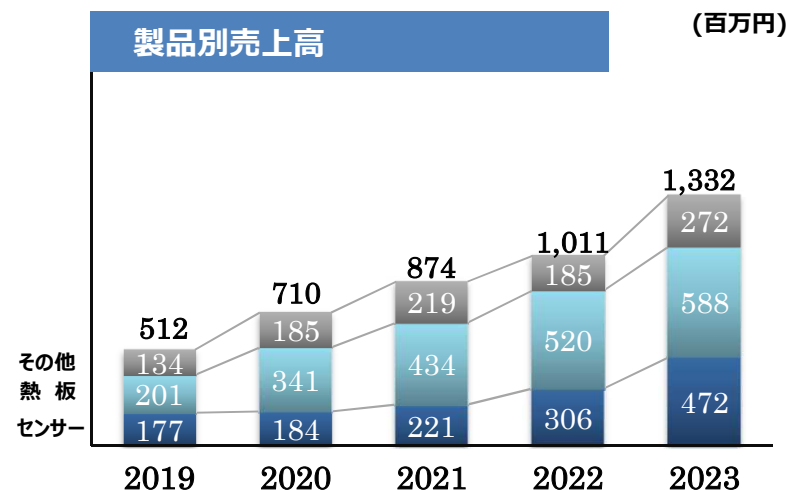
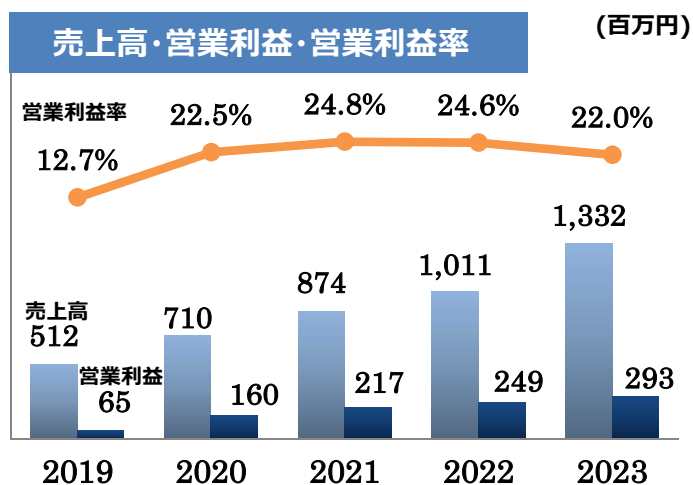


前期比、売上高3.6 %増、営業利益20.6 %減と増収・減益

- ・電力等基幹産業向けの警報・消火設備等の改修工事は堅調に推移
- ・販売管理費に不具合対応として122百万円を計上したことにより減益
- ・引き続き不具合製品の交換対応に注力し、お客様の信頼回復を推進

セグメント別売上高・営業利益 サーマル

FENWAL



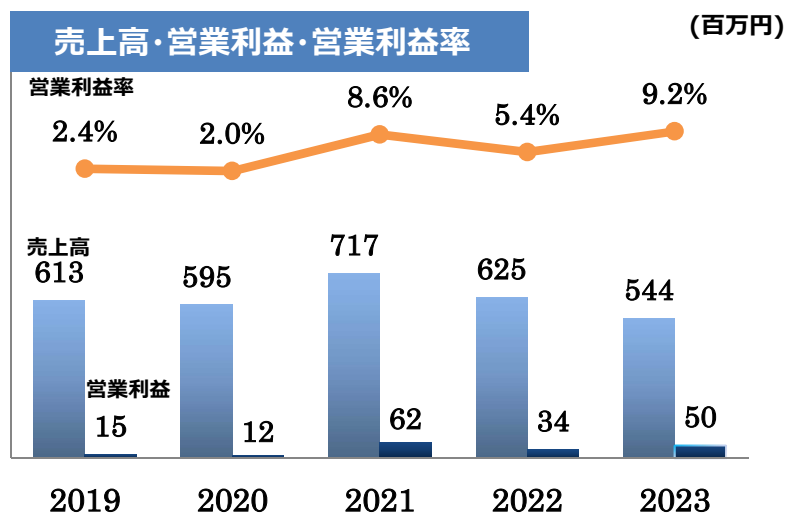
前期比、売上高31.7 %増、営業利益17.9 %増と増収・増益

- ・ 主力製品である半導体製造装置向け熱板及びセンサーの受注は減少したが、売上は堅調に推移
- ・ 原材料の高騰に伴い利益率は減少
- ・ 製品別では、サーモスイッチ（その他）が前期から当期へ納期遅れにより売上増加

セグメント別売上高・営業利益 メディカル・PWBA

FENWAL

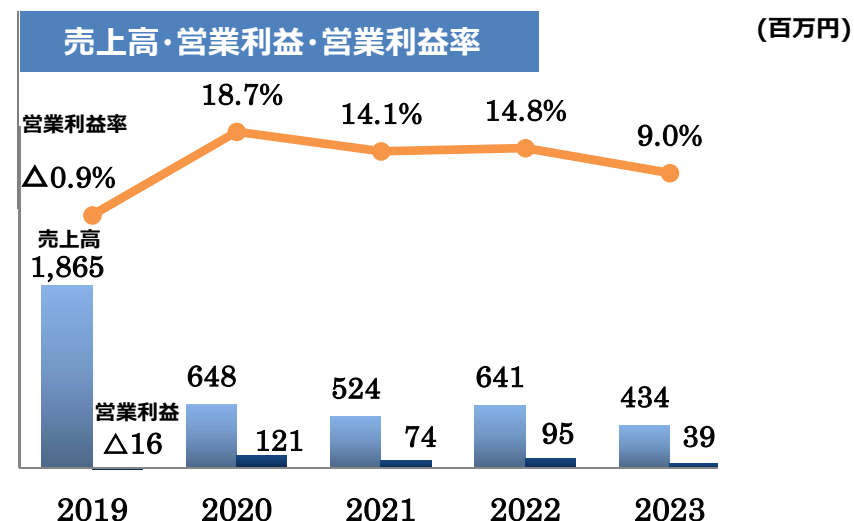
メディカル部門



前期比、売上高12.9 %減、営業利益47.2 %増

- ・透析装置需要の回復の遅れによる減少により減収
- ・組織再編による販管費等の減少により増益

PWBA部門

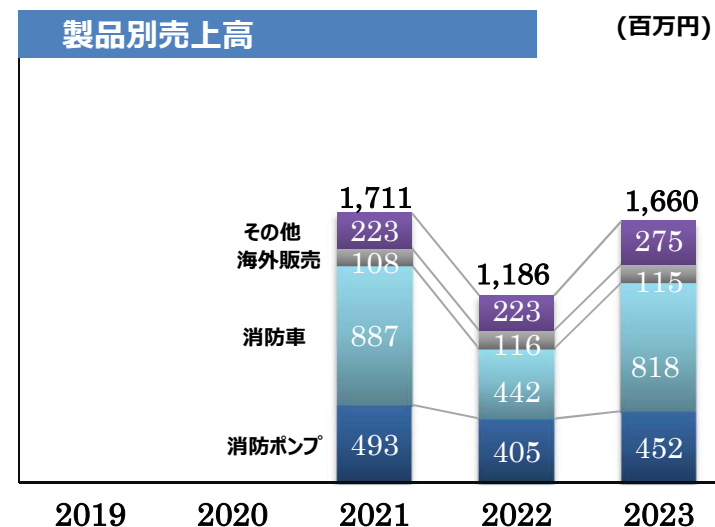
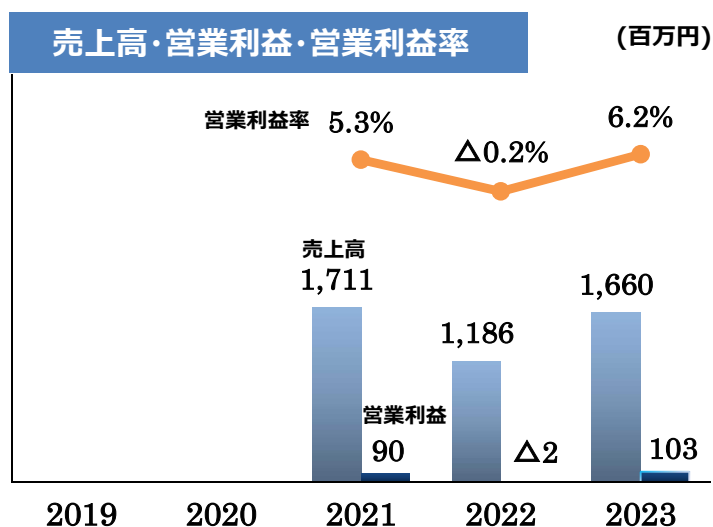


前期比、売上高32.4 %減、営業利益58.4 %減

- ・事務機器および産業機器向け売上は、客先の在庫調整等により減少

セグメント別売上高・営業利益 消防ポンプ

FENWAL



※2021年1月にシバウラ防災製作所を買収し連結子会社化。

前期比、売上高40 %増、営業利益は105百万円 増と増収増益

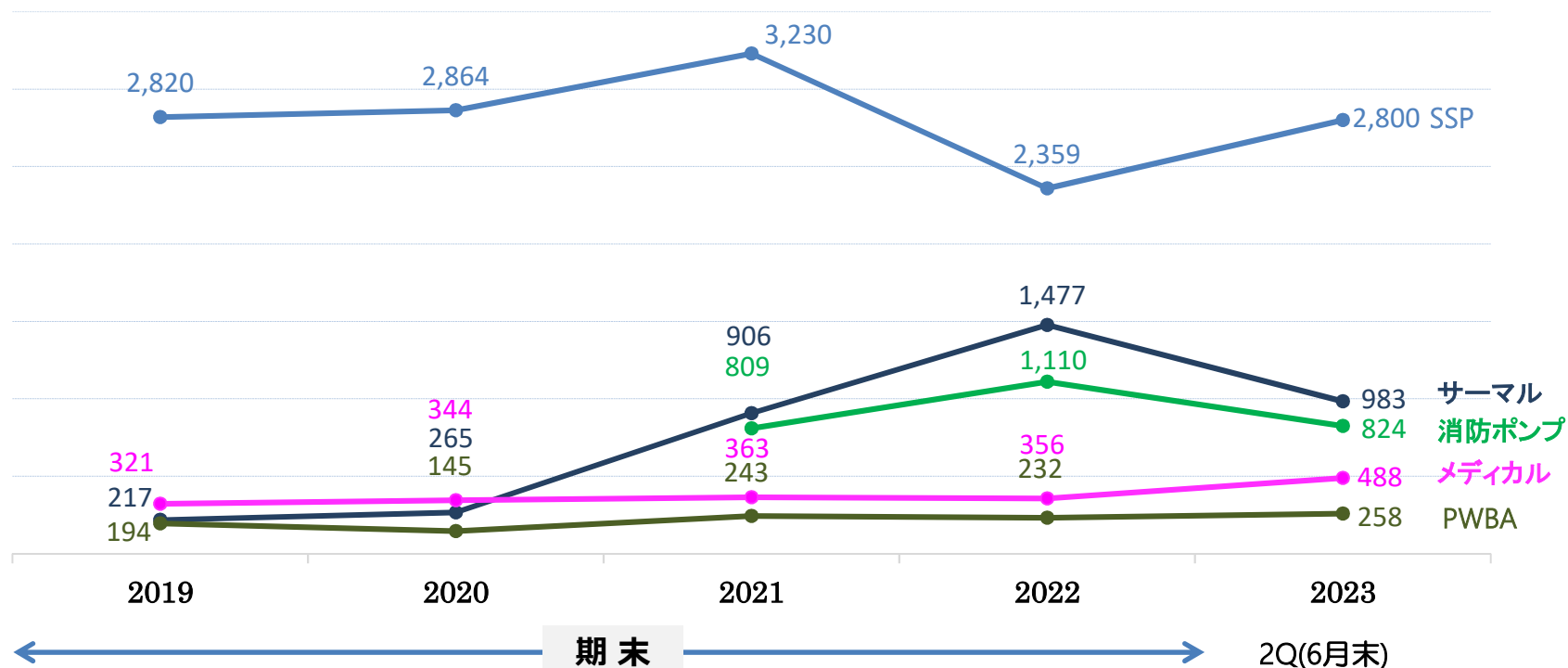
- ・国内向けの消防車及び消防ポンプの販売台数が伸長した為増加
- ・海外では中国・韓国向け消防ポンプが引き続き堅調に推移
- ・中国では、ゼロコロナ政策終了に伴い入札案件も増加傾向

セグメント別受注残高推移

FENWAL

- ・ SSPは、特定顧客向け大型工事案件の獲得により増加
- ・ サーマルは、半導体製造装置市場への投資の落ち着きにより減少

(百万円)



2023年度における主な取組み

2023年上期における主な取組み

FENWAL

「新中期経営計画へ向けての取組み」 2023年2月決算説明会より		2023年上期の主な取組み 【基本の徹底】と【変化への挑戦】に向けた取組み
①	【風土・意識改革】 ・目標の共有、位置ズレの矯正、人財育成ほか	【人財育成】 ・マネジメント教育、コンプライアンス教育 ・新卒・中途採用者教育、階層別教育 ・情報セキュリティ教育
②	【市場で戦える企業へ】 ・組織再編、機能強化、明確な役割定義の設定 ほか	【組織再編】 ・（品質）品質保証・品質管理機能の統合により品質管理体制を強化 ・（営業）機器販売のクロスセールス体制へ変更 ・（開発）開発組織の新設による開発力を強化 ・（生産）生産部門集約による効率的な生産管理
③	【メーカーとしての力を取り戻す】 ・開発投資、品質管理体制の強化 ほか	
④	【潜在ニーズの発掘】 ・マーケティング機能の強化、営業手法の拡大 ほか	【営業手法の拡大】 ・クロスセールス体制（事業別営業を統合） ・インサイドセールス導入（潜在ニーズの発掘）
⑤	【収益構造を根本から見直す】 ・事業性評価、リスクの排除 ほか	【収益性評価】 ・事業性評価を実施中 ・事業の成長ポテンシャル把握 ・持続的成長へ向けて戦略の策定

2. 2023年度 通期連結業績見通し

2023年12月期 連結計画サマリー（増収減益）

FENWAL

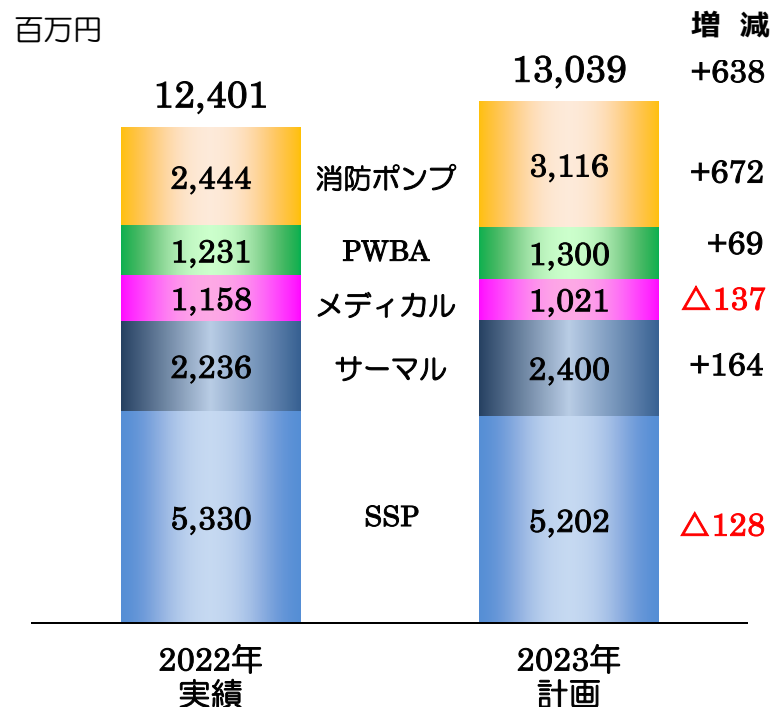
売上は堅調に推移するものの、原材料価格高騰等により増収減益

計画項目		前期比（百万円）	
項 目	2023 予 想	2022 実 績	増減率
■ 売 上	13,039	12,401	5.1%
■ 売 上 総 利 益	4,046	4,045	0.0%
■ 販 管 費	2,790	2,735	2.0%
■ 営 業 利 益	1,255	1,310	△4.2%
■ 営 業 外 損 益	54	168	△67.7%
■ 経 常 利 益	1,310	1,479	△11.4%
■ 当 期 純 利 益	712	826	△13.8%
■ 1株当り純利益(円)	127.09	147.62	△13.9%
■ ROE	6.0%	6.8%	△0.8Pt
■ EBITDA マージン	12.3%	13.4%	△1.1Pt

セグメント別増減明細

FENWAL

売上高の増減



【増収予想】 (前期比 +5.1%)

- SSP
基幹産業及び特殊環境設備向け防災設備の需要の取り込み
- サーマル
半導体製造向けセンサー、熱板の拡販と制御機器の応用製品の取り込み
- メディカル
新型透析装置の機能改善およびソフトウェアの開発を推進
- PWBA
新たな実装需要を取り込むための顧客開拓を推進
- 消防ポンプ
国内：代理店と連携した販売体制を強化
海外：有望代理店の開拓と育成に注力

2023年度 配当・株主還元について

配当・株主還元方針

配当方針

- ・ 企業価値の向上のための積極的な投資を実施しつつ、安定的な配当を継続するためにDOE指標を採用する。

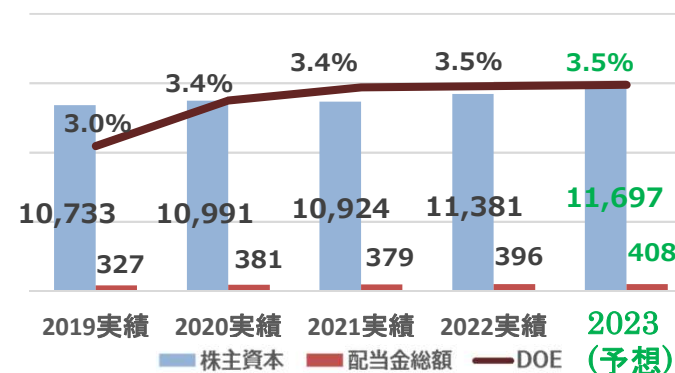
DOE 3.5 % 程度を目安

- ・ 株価水準、キャッシュフロー等を勘案し、自己株式取得による株主還元についても、機動的に対応する。

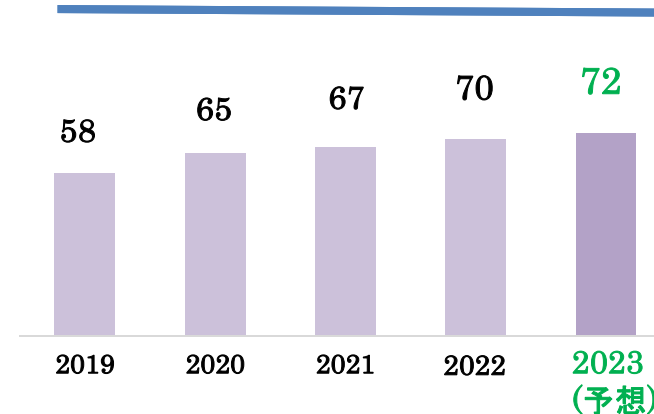
DOE3.5% : ROE 7.0%×配当性向50%

年 度	2019	2020	2021	2022	2023 予想
当期純利益 (百万円)	526	585	387	826	712
配当性向(%)	64.6	62.7	97.6	47.4	56.6
DOE(%)	—	3.38	3.47	3.48	3.48

DOE推移 (百万円)



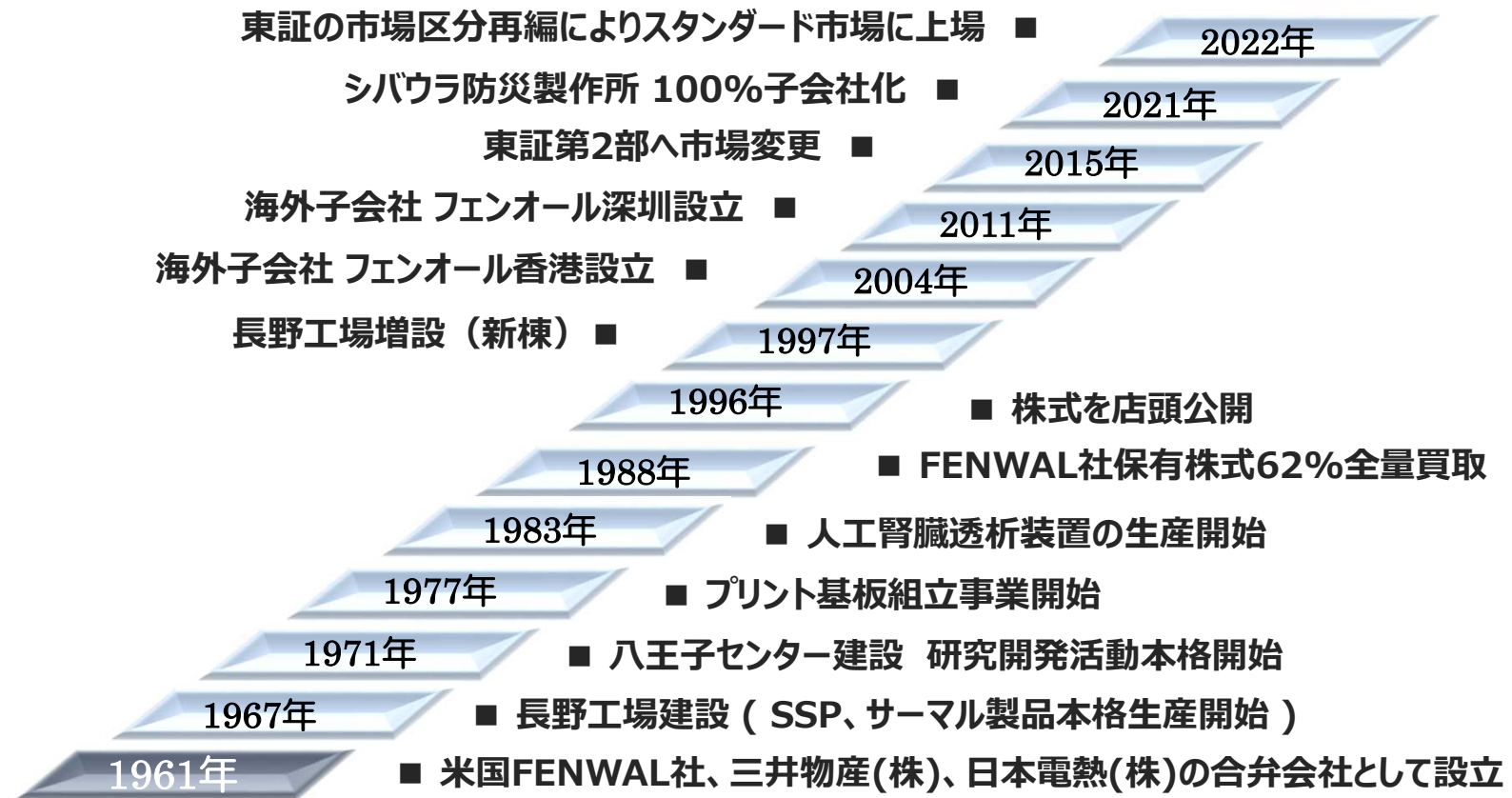
1 株当たりの配当金推移 (円)



3. Appendix

会社概要

会 社 名	日本フェンオール株式会社
代 表 者	代表取締役社長 中野 誉将
設 立 日	1961 年 5 月 24 日
上 場 市 場	1996年 店頭登録、2015年 東証第2部へ市場変更、2022年 東証スタンダード市場
資 本 金	996,600,000円
従 業 員 数	273名（連結）（2022年12月末現在）
本 社 所 在 地	東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・SSP（防災機器） ・サーマル（温度制御機器） ・メディカル（人工腎臓透析装置） ・PWBA（プリント基板実装） ・消防ポンプ（子会社）
大 株 主	<ul style="list-style-type: none"> ・THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD ・株式会社三井住友銀行 ・株式会社八十二銀行
取 引 銀 行	<ul style="list-style-type: none"> ・三井住友銀行 ・八十二銀行 ・三井住友信託銀行 ・三菱UFJ銀行
関 連 子 会 社	国内：株式会社シバウラ防災製作所 海外：・日本芬翁（香港）有限公司 ・深圳芬翁信息咨询有限公司



事業内容

SSP部門

火災警報システム、消火システム、爆発抑制システム、高感度煙検知システム、過熱警報システム等の開発・製造・販売および同システムの設計・施行・保守およびエンジニアリングサービス

サーマル部門

温度調節器、半導体・製造装置用熱板および装置、高温炉用熱電対、その他制御機器等の開発・製造・販売および同システムの設計・サービス

メディカル部門

人工腎臓透析装置および医療機器の開発・設計・製造・サービス

PWBA部門

ア트워크設計、ノイズ対策、プリント基板の実装組立

消防ポンプ部門

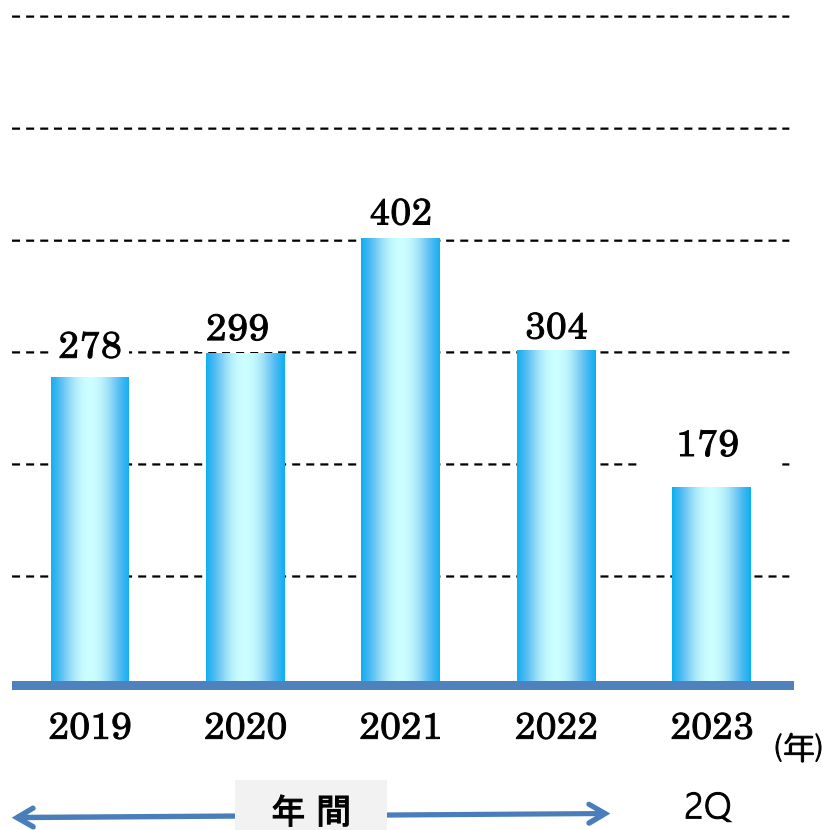
消防ポンプ、浄水機、その他防災機器の開発・製造・販売

2023年度 投資概況

FENWAL

研究開発費

(百万円)

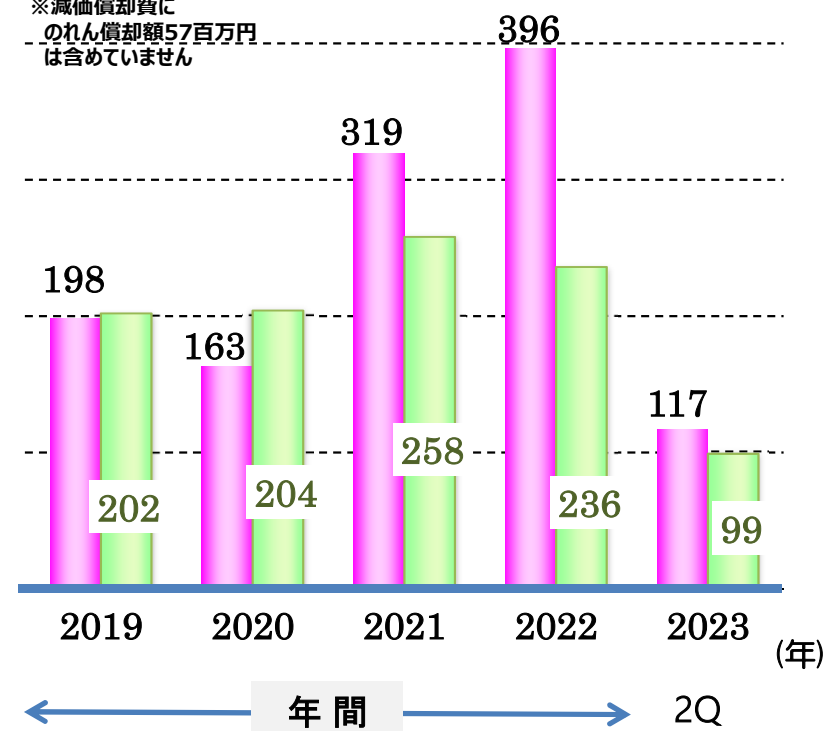


設備投資・減価償却費

(百万円)

■ 設備投資
□ 減価償却費

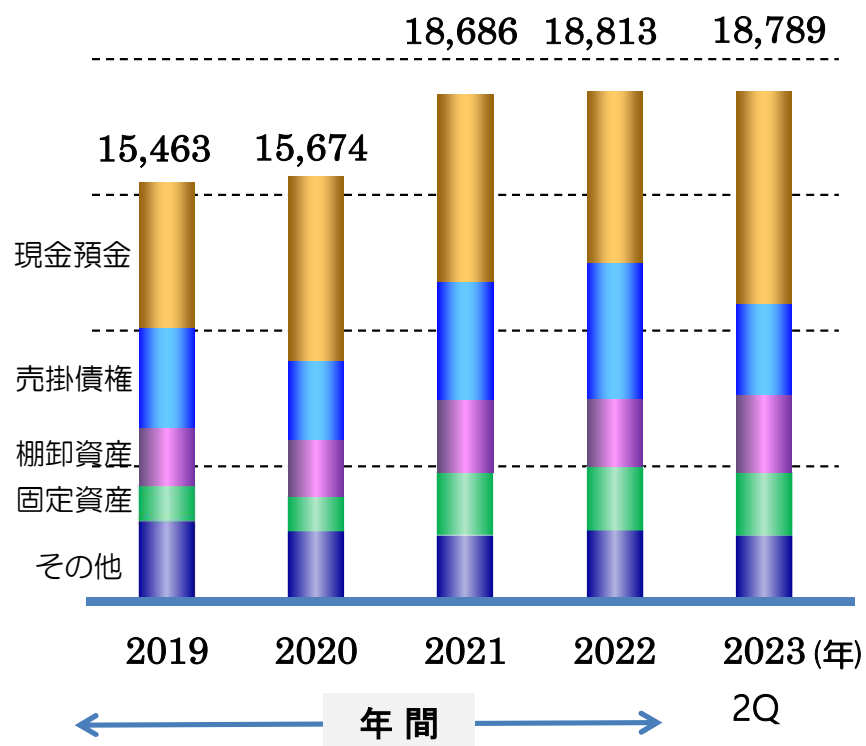
※減価償却費に
のれん償却額57百万円
は含めていません



2023年度 連結貸借対照表(資産の部)

FENWAL

資産推移



増減内容

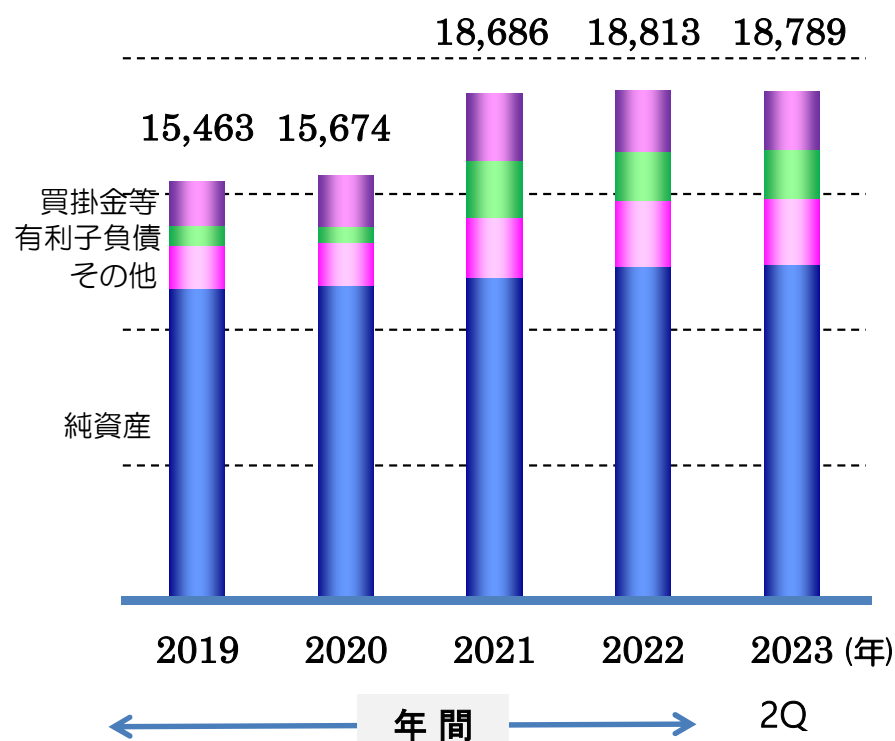
(百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
現金預金	7,787	6,316	23.3%
売掛債権	3,364	5,023	△33.0%
棚卸資産	2,888	2,496	15.7%
固定資産	2,310	2,350	△1.7%
その他	2,438	2,626	△7.2%
合計	18,789	18,813	△0.1%

2023年度 連結貸借対照表(負債・純資産の部)

FENWAL

負債・純資産推移



増減内容

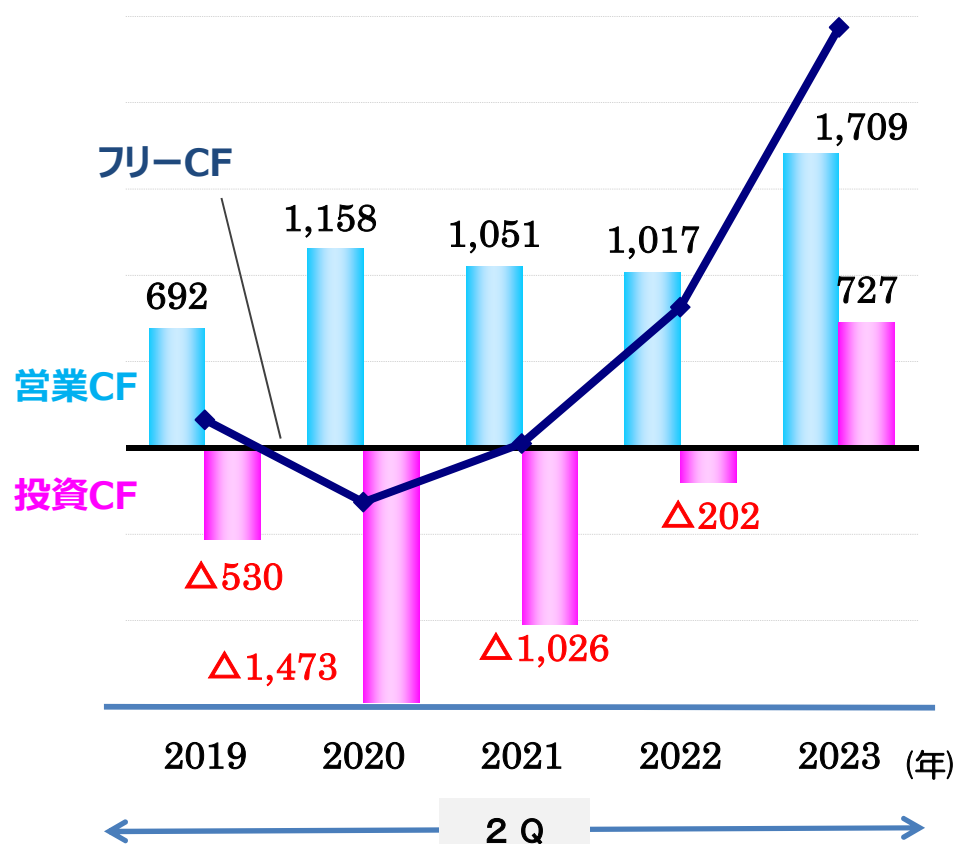
(百万円)

項 目	当 期	前年度末	増減率
買掛金等	2,151	2,269	△5.2%
有利子負債	1,784	1,782	0.1%
そ の 他	2,449	2,449	0.0%
純 資 産	12,404	12,312	0.7%
合 計	18,789	18,813	△0.1%

2023年度 キャッシュ・フロー計算書

FENWAL

キャッシュ・フロー推移



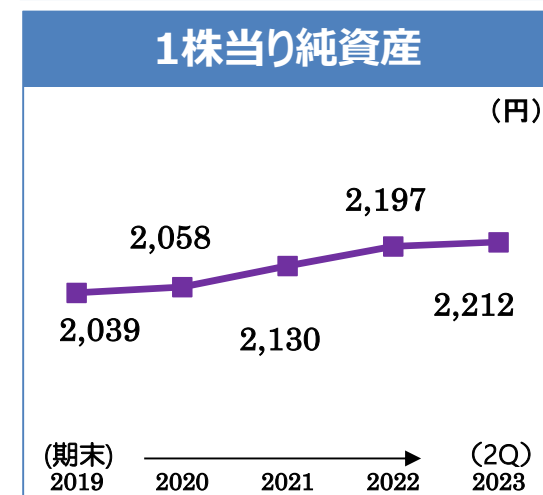
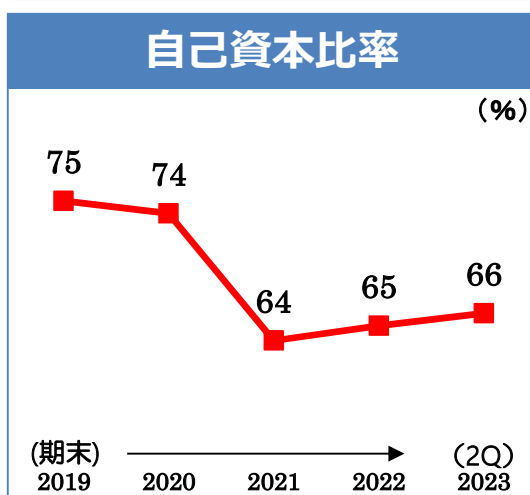
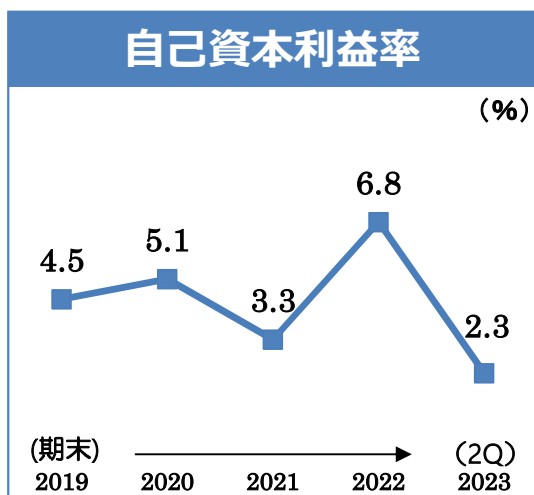
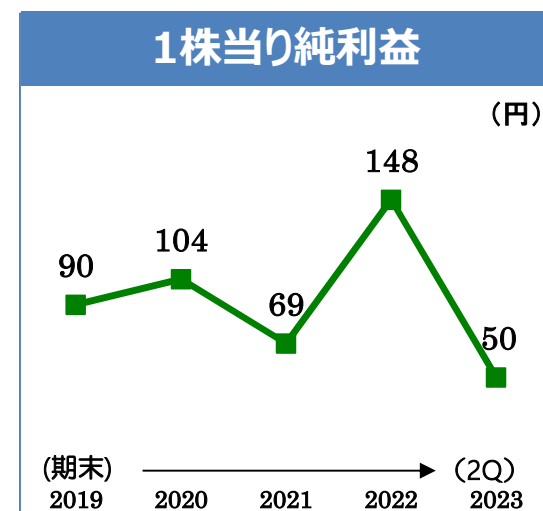
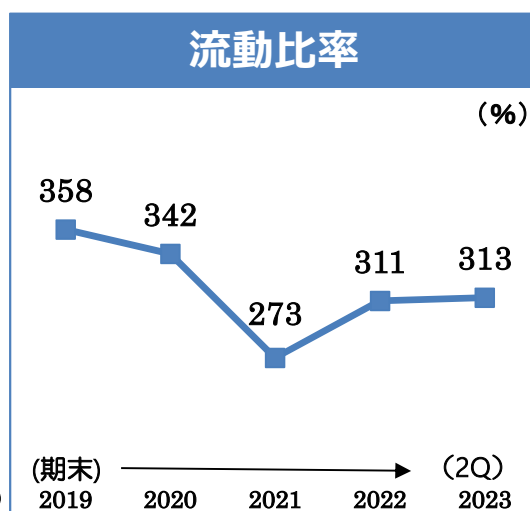
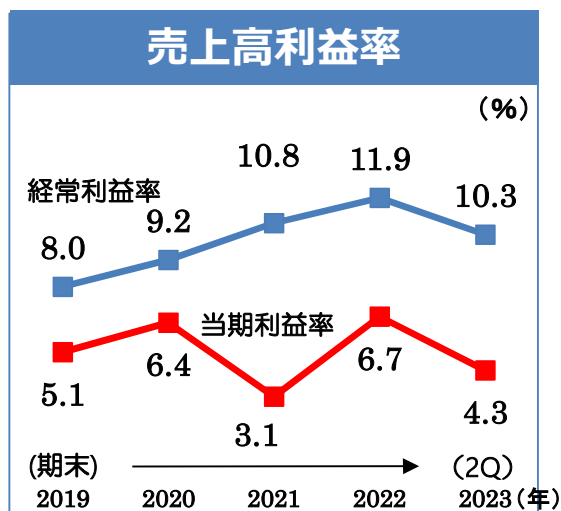
増減内容

(百万円)

項 目	当 期	前 期	増減率
営業CF	1,709	1,017	68.0%
投資CF	727	△202	—
財務CF	△394	△399	△1.3%
換算差額	66	87	△24.1%
合 計	2,109	502	320.1%
期首残高	5,387	5,740	△6.1%
期末残高	7,497	6,242	20.1%
フリーCF	2,436	815	198.9%

財務指標

FENWAL



■ 注意事項

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、特に見通し情報等につきましては、市場環境、為替レート等々様々なリスクや不確実性を内包しておりますので、当社の予測とは異なる可能性があります。

■ お問い合わせ先

日本フェンオール株式会社

執行役員 管理本部長 中島 昭

E-mail : akira.nakashima@fenwal.co.jp

住 所 : 〒102-0072

東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号

電 話 : 03-3237-3561
